



今年の夏は例年以上の猛暑でしたが、最近はずっと肌寒くなってきましたね。この季節は「秋の夜長」と言われることもあります。秋分から冬至までは日照時間が短くなり、夜が長く感じられる季節です。過ごしやすい秋の夜、楽しみ方は人それぞれあると思いますが、くれぐれも夜更かしのしすぎには気をつけてくださいね。



♡10月10日は目の愛護デー♡

普段の生活の中で「見る」事によって得られる情報は他の刺激に比べてとても多く、全体の約80%と言われています。そんな、普段から大活躍している目の働きを考え、大切にするために10日は目の愛護デーになっています。

…ということで！
この機会に改めて、目について考えてみましょう😊



◎見えているのに見えていない

人間の目には、誰にでも「見えていない部分」があります。俗に「盲点」と呼ばれるもので、視神経線維が集まって束になっているところには網膜がないので、光を感じることができず「盲点」となります。しかし、人間は普段「見えていない部分」があることを意識していません。

ぜひ、下の盲点チェックで「見えていない部分」を実感してください。



<盲点チェック>上の図の左の●を右目で見ながら紙を近づけたり遠ざけたりしてみよう
右の★が消えたところが盲点です

うっかりして人が何かを見落としてしまうことも「盲点」という言葉を使って表現します。人間の目には誰でも「盲点」があるように、うっかりの「盲点」があるのも当然かもしれませんが、なるべく「盲点」はなくしていきましょうね😊

◎目の錯覚は脳の錯覚？！

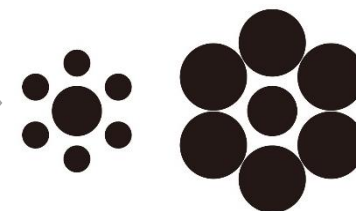
見えているものは、全て「光」です。最初に、光は目で受け取られます。そこから、神経を通過して、脳の後ろ（後頭葉）に伝えられます。脳には、形、色、明るさ等を認識する場所が、それぞれ役割分担されています。後頭葉が受け取った光は、それぞれの担当場所に送られて、統合されて像を認識するのです。つまり「見る」のは脳なのです。

脳は、目に映ったものから、必要な光だけを抽出して物を見ています。この「抽出」の過程で、ちょっと間違えてしまうことが錯視、いわゆる目の錯覚と呼ばれているものです。

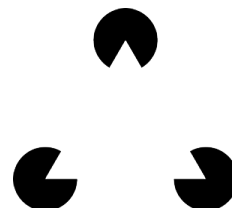


中心はどちらも同じグレーですが、背景の色が違うことで明るさが違って見えます。

中心の円は同じ大きさですが、小さい円に囲まれると大きく見え、大きい円に囲まれると小さく見えます。（エビングハウス錯視）



欠けた黒丸が3つ書いてあるだけですが、脳が線を補って、真ん中に白い三角形があるように見えます。



調べてみると他にもいろいろでてくるので、興味のある人はぜひ☆